

平成24年第5回日野町議会定例会（2日目）

平成24年6月13日 午前10時 開議

一般質問通告表

通告順	氏名	質問事項
1	松本利秋	<p>* ふるさと納税と観光について</p> <p>ふるさとを愛し、応援しようと自治体に寄付する「ふるさと納税制度」が発足して5年目を迎えました。本町は、愛と元気の日野町ふるさと基金を創設し、愛の基金を全国からいただいております。感謝にたえません。</p> <p>これは、善意の寄付でありあれこれ詮索しがたいのでありますが、発足当時から件数、金額とも減少しています。</p> <p>先般、報道された県下の状況をみると金額の増えた市町村もありますので、より善意（寄付）が増えるよう、今一度、この制度を検証してみる必要がありはしないでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 宣伝（PR）は、十分でしょうか。 2. 寄付者へのお礼の品はどうでしょうか。 3. 寄付金（要綱）の使い道はどうでしょうか。 4. この制度を、町民が十分に理解しているでしょうか。 <p>本町の観光行政については、度々質問させて頂いておりますが、町観光協会の総会に出席して感じましたので、改めて町長のやる気をお聞きします。</p> <p>本町の自然美や歴史文化財を生かした観光で、注目されている金持神社を筆頭にオンドリがあげられますが、近年、根雨のたたら楽校、黒坂鏡山城下を知ろう会、上菅の都合山たたら等が。スポーツでは、日野川のラフティングの活動が活発化してきています。</p> <p>これらは、あと一步の下支えがあれば大きく成長し、町の活性化にも繋がるものと信じます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町の観光行政として、各種団体等の連携をはかり、一つに束ねることはできないでしょうか。 2. 金・物（人）の支援は。 3. 休日（土、日、祝祭日）に対応した職員の配置と観光案内業務は。 4. 観光関係者及び役場職員のアイデアによるネームプレートの作成、統一化はできないでしょうか。

2	小谷博徳	<p>* 第一次産業育成と、芸術文化等地域資源を生かした、町づくりについて</p> <p>年間 80 人以上の人口減が 20 年以上継続している。 人口減少にストップをかけないと、町の将来を見据えることはできない。</p> <p>産業育成をすることにより、若者の流出防止や、若者を迎え入れる道につながると考えられる。</p> <p>このことは、昨年一昨年と言い続けてきたが、進展が見えない。しかし、言い続けないと町の存亡がかかっている。</p> <p>今一つは、文化、芸術、史跡は町の宝として、児童、生徒を含め、町民の心に植えつけることにより、愛町心を養い、町民の誇りや心のよりどころとなる。</p> <p>これらは、町の閉塞感を打破するキーワードであると位置付けたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町民が安心して住むための町づくりを、どういう方向性をもって、どのように具現化してゆくのか、考えをお聞きしたい。 2. 第一次産業、とりわけ農林業の将来展望と、それに町はどう対応するのか、お聞きしたい。 3. 農林業向けの、I・J・Uターン推進の考え方を、お聞きしたい。 4. I・J・Uターン向け、標準体型モデル構築に向けた取り組みの考えがあるのか、お聞きしたい。 5. 小学 6 年郷土学習資料の作製は、この町の文化、芸術史跡の活字化により、風化防止に大きな意味を持つが、どのように学習活用されるのか、お聞きしたい。 6. この資料に漏れた部分の可否と、あればその補完はどのようにされるのか、お聞きしたい。 7. 都合山たたらについて、町として今後どうするのか、その考えをお聞きしたい。
---	------	---

3	安達幸博	<p>* 公共事業事業者選定について</p> <p>昨年度、若者向け住宅が建設されました。 その際、公募型プロポーザル方式により事業者が決まりました。</p> <p>また、寄付していただきました家屋の解体も、事業者選定は、プロポーザル方式で行うと言われました。 この事業については、プロポーザル方式による事業者選定に、違和感を感じています。</p> <p>事業者選定は、財務規則にあるように、一般競争入札、指名競争入札、随意契約(プロポーザル方式含む)があります。</p> <p>事業の性質や規模で、事業者選定を使い分けて良いのではと思う観点から質問を致します。</p> <p>①事業者選定の考え方を伺います。 ②今年度の事業の事業者選定方法は。 ③事業者選定をプロポーザル方式により実施するに当たり、基本的な事項を定めるなど、取り扱い規定を作るべきと思うが所見を伺います。</p>
4	竹永明文	<p>* 保小中一貫教育の推進について</p> <p>日野町で生まれ育つ子どもたちが、豊かな自然環境や温かい人間関係の恵みを受けて、心身ともに健全に成長し基本的な生活習慣や忍耐力、思いやりや協調性を身につけ、自分や周りの人がふるさとを愛する心をもって育つことを基本理念として、保護者、地域、関係者が連携して取り組んでいますが現状と課題は。</p> <p>1) 環境づくり</p> <p>1. 小学校の統合についての考え方をお聞きしたい。 2. 久住分校の廃校問題の現状をお聞きしたい。</p> <p>2) 食育について</p> <p>1. 食物アレルギーに対する対応の現状と今後の考え方をお聞きしたい。 2. 学校給食における食物アレルギー対策の現状をお聞きしたい。</p>

5	松原直人	<p>* 公共施設の耐震化、長寿命化について</p> <p>公共施設である橋りょう、道路、上下水道等の土木施設および学校等建築物の施設整備や修繕が計画、施工され耐震化、長寿命化が図られています。</p> <p>公共施設を有効に活用し、効率的な施設の維持管理、更新に努めることは、将来のまちづくりにつながる。今後の維持管理計画を策定され財政負担にならないようにしたいものです。</p> <p>1)長寿命化修繕策定計画で残っている物件は。 2)施設整備の優先度、これからの計画は。</p> <p>* 空き家及び危険家屋(廃屋)対策について</p> <p>自然景観や国土保全、食糧・水の供給、温暖化防止など多くの公益機能を持ち、国民共有の財産となっている中山間地域ですが、少子高齢化はもとより、独り暮らしの高齢者世帯が増え、後継者がなく、空き家が増えて廃屋となっています。</p> <p>1) 日野町の空き家の現状は。 2) 現在本町には危険と思われる空き家屋が何軒ぐらいありますか。 3) 取組みのルール化が必要ではないか。</p> <p>* 元気なまちづくり交付金について</p> <p>地域のコミュニティー活動・自治会等元気な地域づくりに役立てていただければとあるが、今年度予算は減額されている。</p> <p>自治会や団体が申請しやすくないか。</p> <p>1) 今年度の申請状況は。 2) 伝統あるねう祭り・黒坂納涼まつりは、この交付金になじまないのではないか。</p>
---	------	---

6	佐々木求	<p>* 福祉について</p> <p>健康ひの21プラン健康づくり推進ビジョン(第2次版)が平成24年3月策定されているが、推進ビジョンは平成33年度までの10年間を見据えた計画であるものの、今後の具体的な取り組みについての計画が示されていない。具体的な内容について伺いたい。</p> <p>経済の問題と違い、明確な目標を持つことは極めて大切なこと。</p> <p>①各種分析、アンケートはあるが今後の計画そのものが示されていないのはなぜか。</p> <p>②地域医療との連携などに触れてないのはなぜか。</p> <p>障害福祉計画(第3期)が平成24年3月に策定され、障がい者が安心して暮らすことを推進するための具体的な施策について伺いたい。</p> <p>①この計画を見ると「要」ともいうべき「家族会」の設立支援は一切触れていない。</p> <p>この問題を考える際、まず根本的な命題としてとらえることこそ第一歩だと考えるがこの視点がないのはなぜか。</p> <p>②「鏡山荘」が廃止されようとしている。経過と今後の対応をどう考えているか。</p> <p>国民健康保険特別会計</p> <p>この会計は、どの町村も悩みの一つだが、住民負担を増やさないよう力を尽くすことは為政者の責務でもあります。</p> <p>①特別会計の中に占める薬代はいくらか。</p> <p>②ジェネリック利用の推進をさらに進めるべきではないか。</p> <p>何割の利用となっているか。</p>
---	------	--